

3. 農薬資材の削減及び省力化

国産石灰窒素は農薬登録されています
 農薬効果を利用してトータルコストの削減が計れます

**ご存じですか、国産石灰窒素で肥料・農薬・土づくり！
 環境保全型農業に役立つ多機能な農業資材**

**キーワードは
石灰窒素の連用**

農薬効果
殺菌/殺虫/除草
休眠覚醒

一年生雑草防除 (一年生雑草防除)
 ジャンボタニシ防除 (ジャンボタニシ防除)
 センチュウ防除 (センチュウ防除)

残留しない農薬として

土づくり効果
腐熟促進/酸度矯正

連作障害軽減 (連作障害軽減)
 臭化メチル代替 (臭化メチル代替)
 太陽熱・石灰窒素法 (太陽熱・石灰窒素法)
 メタンガス減少 (メタンガス減少)
 稲わらすき込み (稲わらすき込み)

土づくり・堆肥づくりとして

肥料効果
緩効性窒素肥料/
カルシウム補給

増収 (増収)
 小麦の追肥 (小麦の追肥)
 硝酸低減 (硝酸低減)
 ホウレンソウの品質向上 (ホウレンソウの品質向上)
 ネギの増収 (ネギの増収)

緩効性肥料として

国産石灰窒素の稲、小麦、野菜等への上手な使い方をアドバイスします
 郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、作物名とご覧になった紙名を記入の上、はがき、FAXで下記へどうぞ
 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3-4 共同ビル (神田東口) 9F
 ☎ 03-5207-5841 FAX 03-5207-5843

日本石灰窒素工業会
 ホームページリニューアルしました。ぜひご覧下さい ▶ <http://www.cacn.jp>

(1) 農薬効果を利用

1) センチュウ防除



① トマトに対するネコブセンチュウ防除効果試験

千葉大学園芸学部附属日本園芸生産研究所 1950年

試験地土性 : 火山灰土、例年無肥料畑で、センチュウの発生が著しい

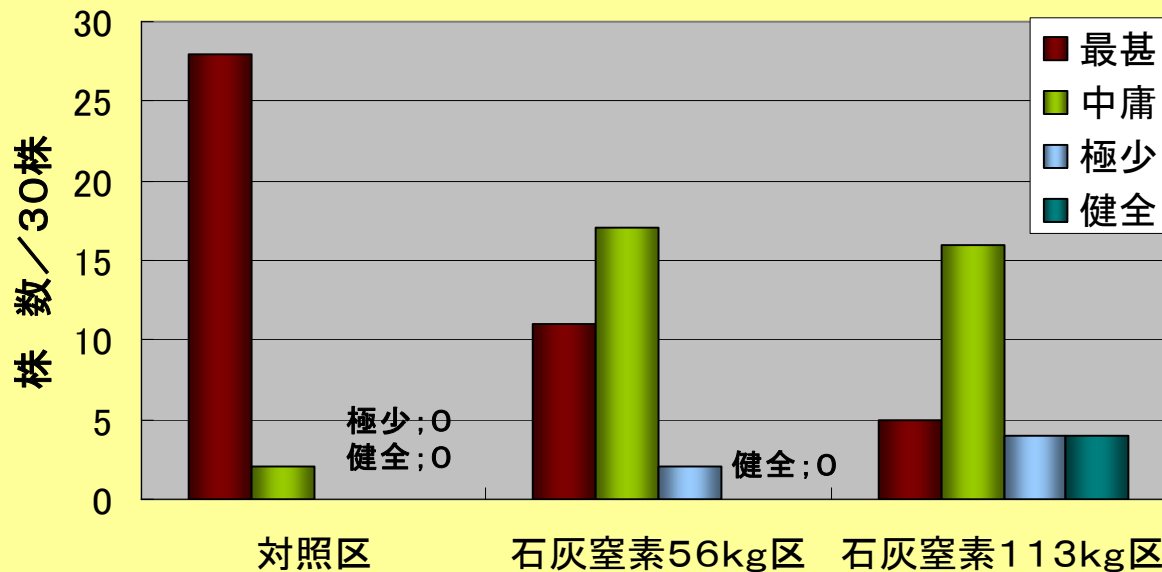
品 種 : ポンテローザ

石灰窒素施用: 石灰窒素56kg/10a 区 4月15日

石灰窒素113kg/10a 区 4月5日、4月15日均等分施用

植 付 : 5月1日(各区30本)

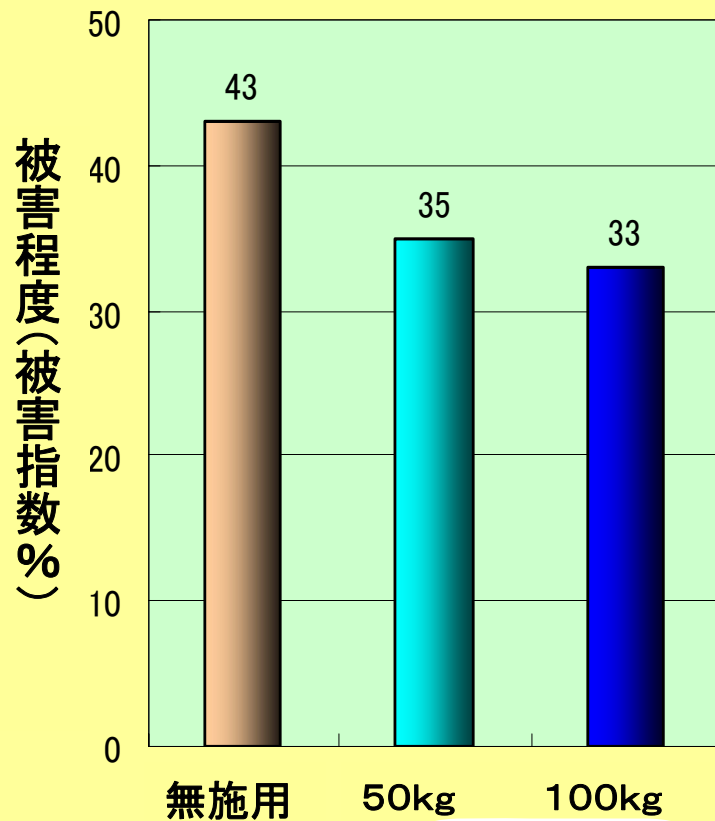
罹病の程度



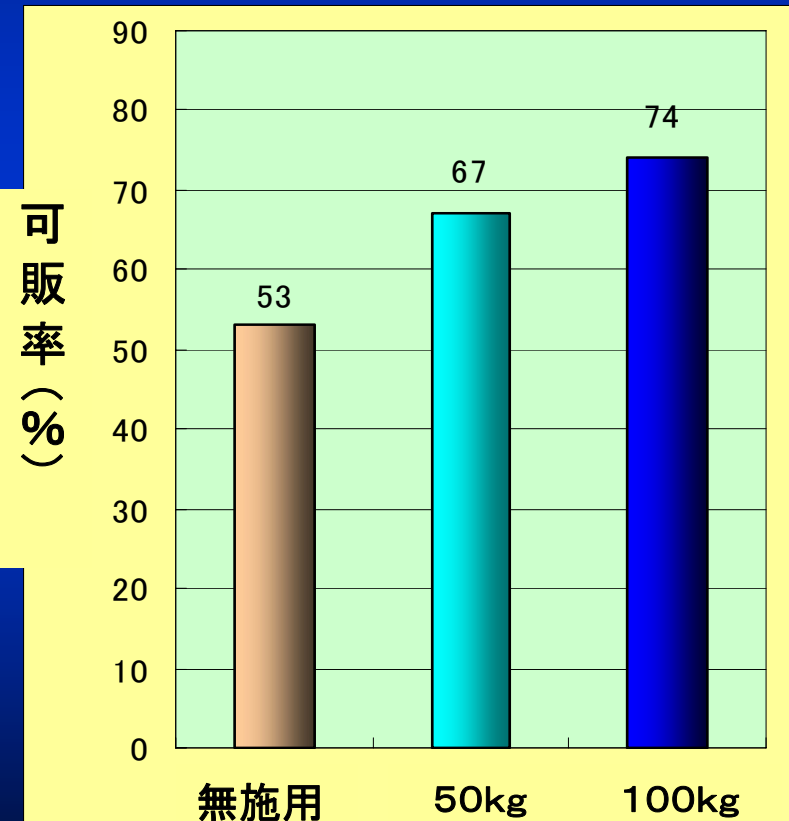
②ダイコンに対するネグサレセンチュウ防除効果試験

- ・施肥 5/9 石灰窒素 50kg、100kg/10a
- ・播種 5/19
- ・収穫調査 7/13

岩手県農業試験場、1989年



石灰窒素



石灰窒素

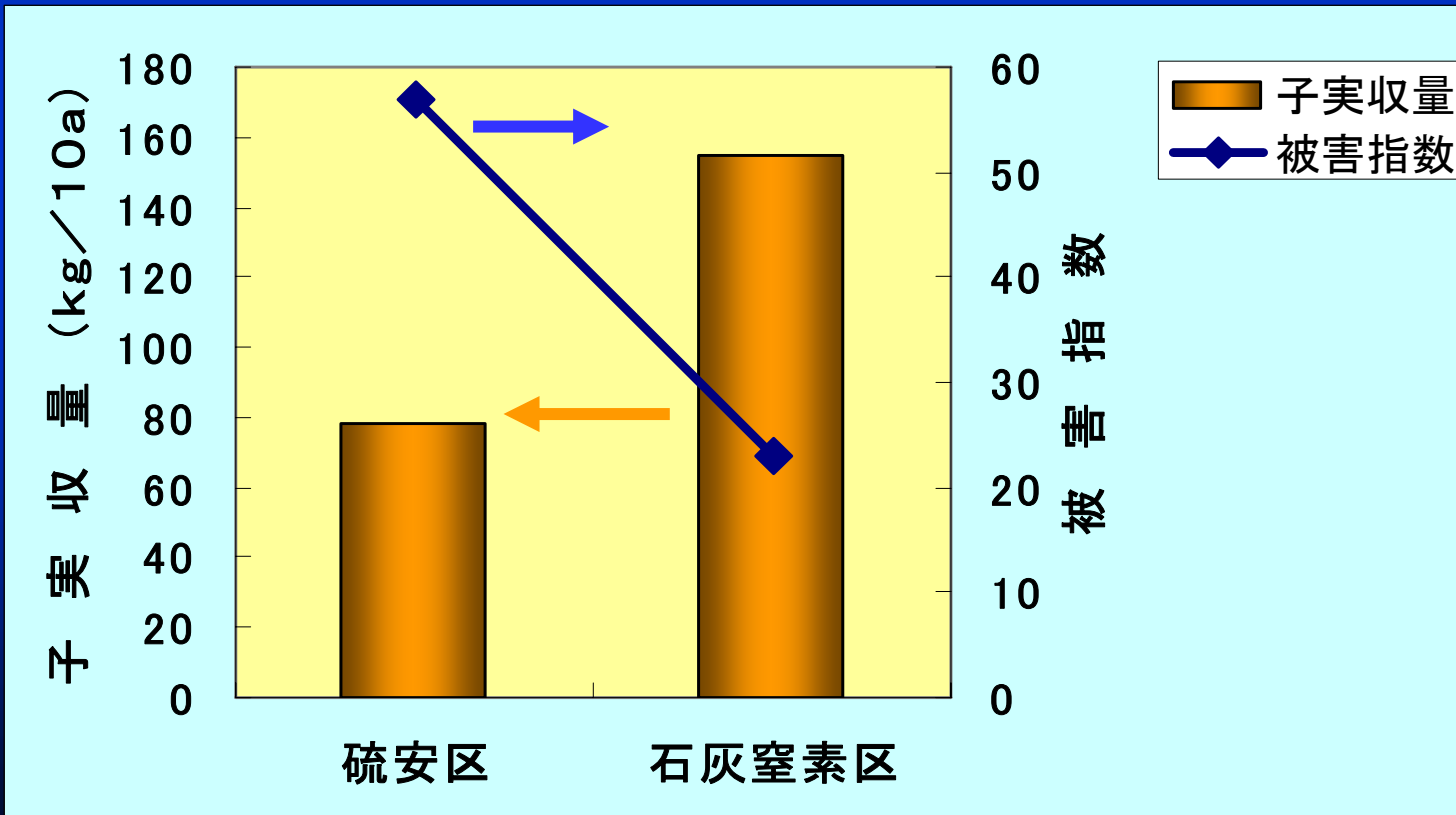
③大豆に対するシストセンチュウ防除効果試験

山形農試 1952年

施用量

石灰窒素: 77kg/10a

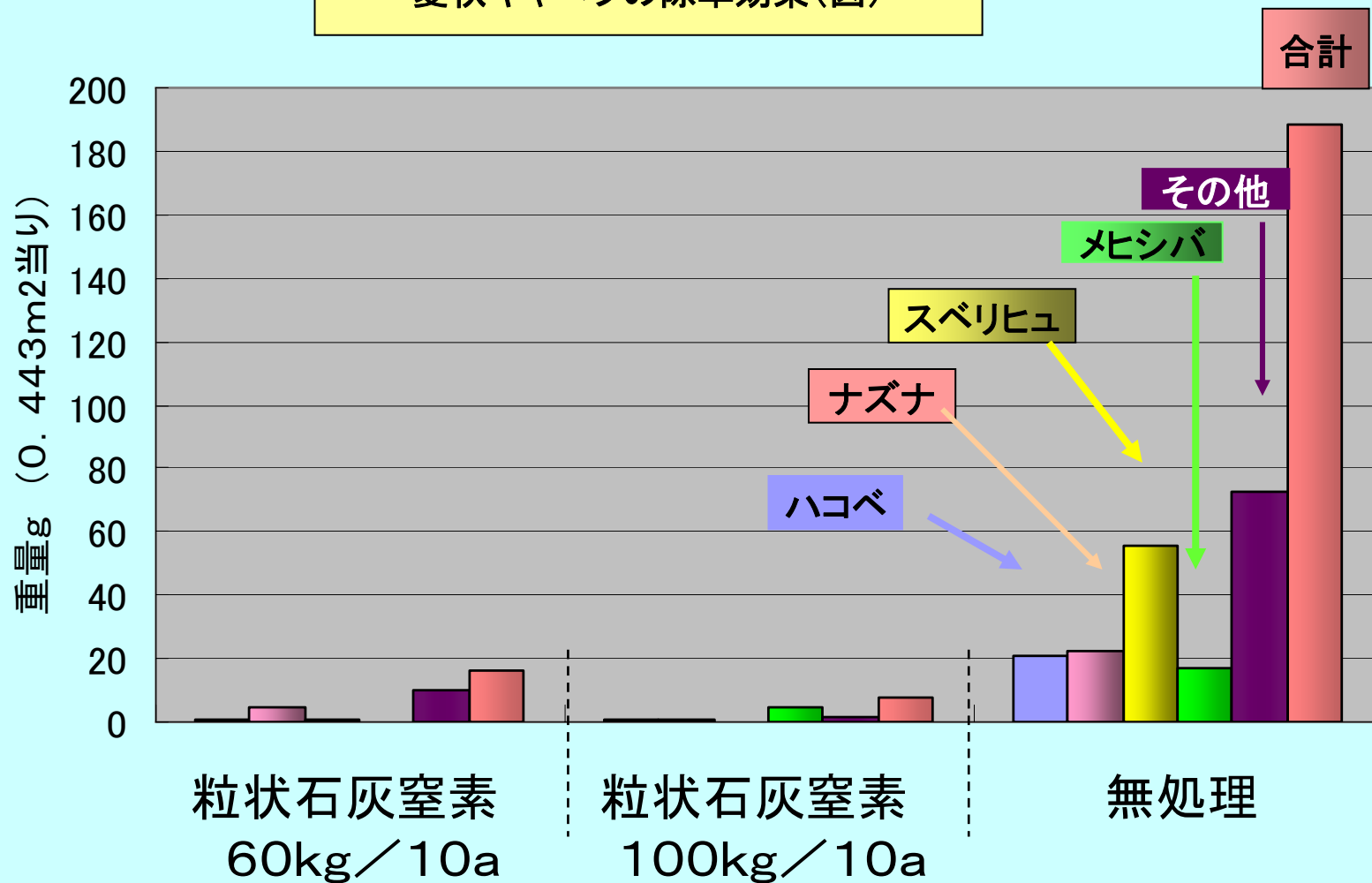
硫安 : 75kg/10a



2) 除草効果

国産石灰窒素の連用で雑草を防除!!

夏秋キャベツの除草効果(図)



調査は9月27日 2ヶ所平均雑草重量(g)

3) 根こぶ病(キャベツ、ハクサイ)での他薬剤と併用効果

①キャベツ根こぶ病に対する国産石灰窒素とフロンサイドの併用効果例

実施場所

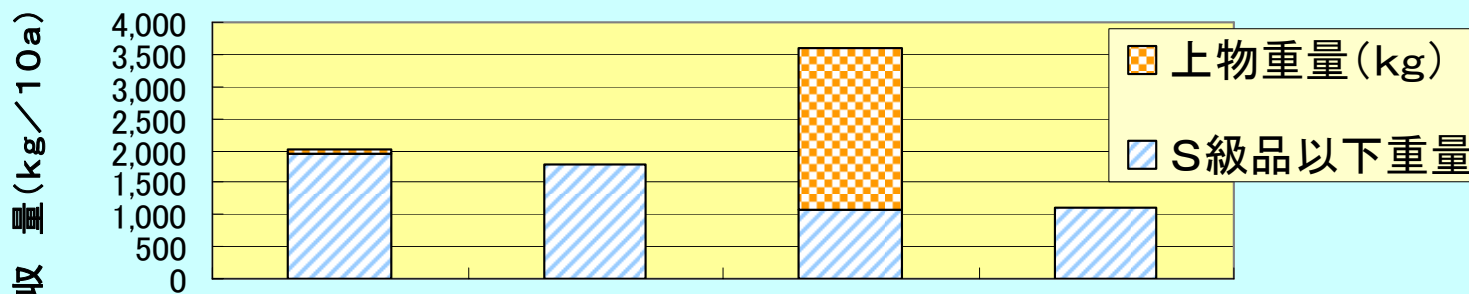
宮城県迫普及所(1993年)

耕種法

・品種 YR青春

・定植 8月25日

収穫開始 11月8日 (11月11日;調査日)



フロンサイド粉剤 40kg

石灰窒素 100kg

石灰窒素100kg+フロンサイド40kg

無処理

注) 上物 M級品以上

② ハクサイ根こぶ病に対する国産石灰窒素とダゾメット粉粒剤の併用効果例

和歌山県農試病虫部(平成7年2月)

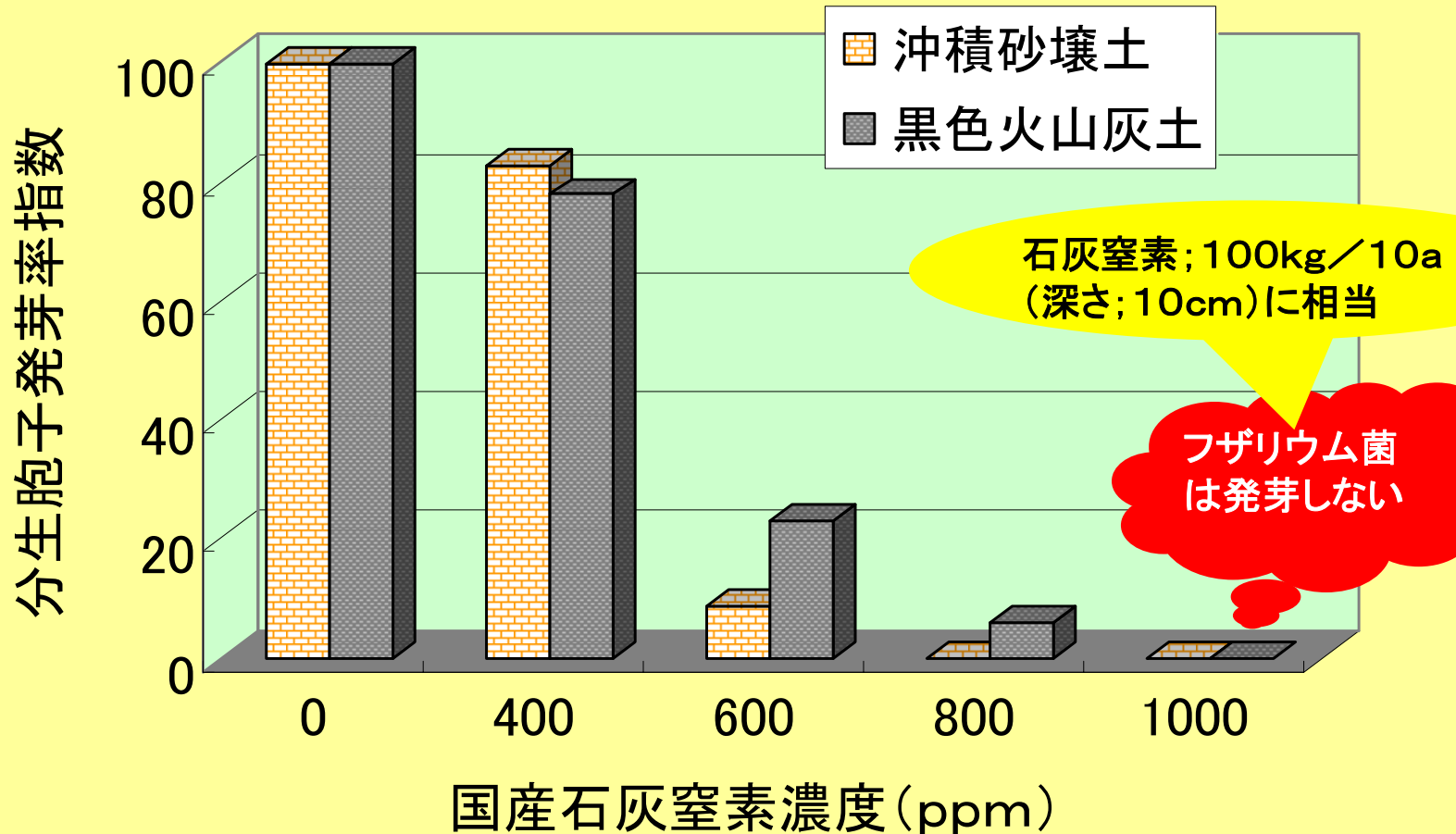
試験研究方法

- ・試験場所 : 貴志川町発生圃場
- ・耕種概要 : 品種;大福75 定植時期;10月3日
- ・処理量・方法: 耕起後、9月12日 ダゾメット剤を畦面に施用し、レーキで混和した後散水し、ポリフィルムで被覆。9月22日にポリフィルムを除去し、レーキでガス抜き、定植まで放置
- ・調査方法 : 12月8日に20株当りの根部発病程度を調査

処 理 区 (処 理 量)	発病株率	発病度	防除価
無 処 理	95%	41.7	—
石灰窒素単用(100kg/10a)	65%	25.8	38.1
ダゾメット単用(30kg/10a)	55%	19.2	54.0
ダゾメット(30kg/10a) + 石灰窒素(100kg/10a)	0%	0	100.0

4)フザリウム菌に対する発芽阻止力

土壌中のF. Oxysporum分生胞子に対して



松田 明農学博士(元茨城県農業試験場病虫部長)の論文から引用